

あさがおの かんさつで



まりの 大すきな せい生活科の じかん時間になりました。今日は きょう一人一人が
そだてている あさがおの かんさつです。先生が、
「タブレットを いつかって、あさがおの はな花の ようすを とりに
行きました。」
と、いいました。

校ていに行くと うえきばちが きれいに ならび、赤や ピンク、
むらさきや 青の 花が たくさん さいていました。まりは、
「わあ、きれいな 花が いっぱい！」
と、むちゆうに なって あさがおの はな花の しゃしんを とりました。
先生は、

「まりさん、あさがおの　しゃしん、じょうずに　とれていますね。」
と、言ってくれました。

(ようし！　もっと　とってみよう。)

まりが　そう　思おもったとき、じつくりと　かんさつを　している

みきと　たけしに　気づきました。

(二人とも　いっしょうけんめい　かんさつを

しているなあ。)

(そうだ！　がんばっている　二人も

とってあげよう。)

まりは、かんさつしている　二人の顔かおを

そっと　よこから　とりました。

「しゃしんが　とれたよ！」

まりは、すぐに　二人に　しゃしんを　見せました。



「えっ！　どんな　しゃしん？　わたし、うつってる！」
みきが　わくわくした　声こえで　うれしそうに　いいました。

ところが、たけしを　見ると、なんだか　むっと　している　ようです。

「たけしさん、どうしたの？」

と、まりが　聞くと、

「ぼく、かっ手に　とられるのは　いやだよ。」

と、たけしは、おこったように　いいました。

（どうして　たけしさんは　おこって

しまったのかな。）

そんな　たけしに　まりは　びっくりして、

もう　なにも　言えなくなつて　しまいました。

まりは、自分じぶんが　やったことを　思い出し、

その　わけを　考かんがえてみました。そして、たけしに　話はなしました。



「ごめんね。わたし——。」

そうやって たけしの しゃしんを けしました。

たけしは

「うん。でも、これからは——。」

と、言いました。先生は 二人の

顔を やさしく 見つめ、にこっと わらいました。

つぎの 日です。今日は

タブレットの しゃしんを

つかって かんさつノートを

まとめます。

まりの タブレットには あさがおの 花が

きらきらと うつつています。

